

SONANCE

PowerZone® Connect PRO • 2000.2/2000.2D

クイックスタートガイド

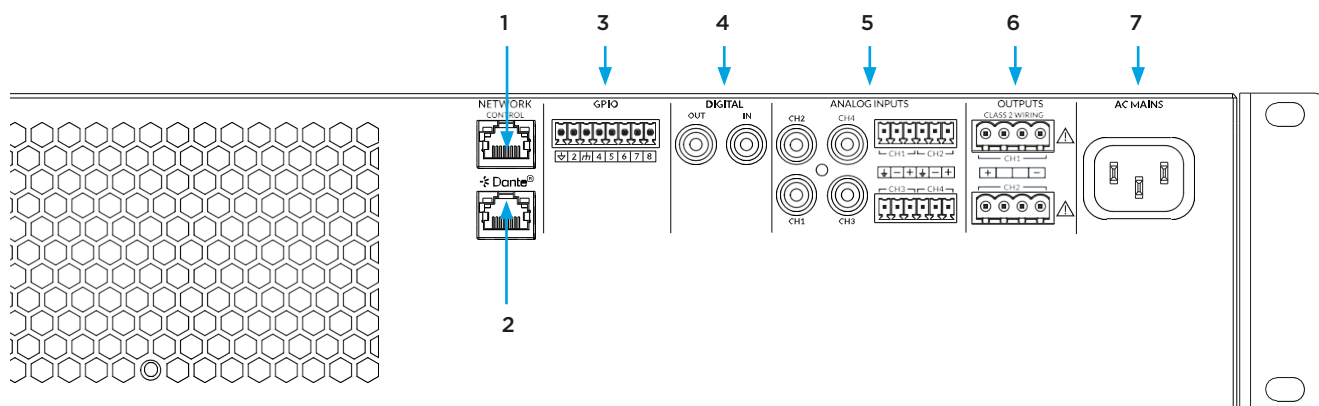
同梱品

- パワーアンプ本体
- ラックマウント金具（装着済み）
x2
- 電源ケーブル
- 入力コネクタ x2
- GPIOコネクタ
- 出力コネクタ x2
- 粘着式ゴム足 x4
- 資料一式

設置上のご注意

- ハイインピーダンス/ ローインピーダンスのスピーカー接続は、PowerZone® Control Webアプリより出力チャンネルごとに個別設定できます。（初期設定：Hi-Z 70V）
- アナログ入力感度は、PowerZone® Control Webアプリよりチャンネルごとに個別に調整できます。
- S/PDIFデジタルオーディオ入出力のルーティングは、PowerZone® Control Webアプリより設定できます。
- GPIO（汎用入出力）は、PowerZone® Control Webアプリより設定できます。
- Audinate Dante®インターフェイス（オプション）により、AoIP（Audio over IP）ネットワークとの統合に対応します。
- ラックや密閉空間に設置する場合は、機器の安定した動作に必要な通気を妨げないようにしてください。動作環境温度は、必ず40°C以下を維持してください。

接続端子



*図は、PowerZone® Connect PRO 2000.2Dを例として示しています。

1. ネットワーク・コントロール
2. Dante®（オプション）
3. 設定可能GPIO
4. 設定可能S/PDIFオーディオ入出力

5. オーディオ入力：
バランス入力：Euroblock
アンバランス入力：RCA
6. 設定可能スピーカー出力
7. 電源入力

SONANCE

PowerZone® Connect PRO • 4000.4/4000.4D

クイックスタートガイド

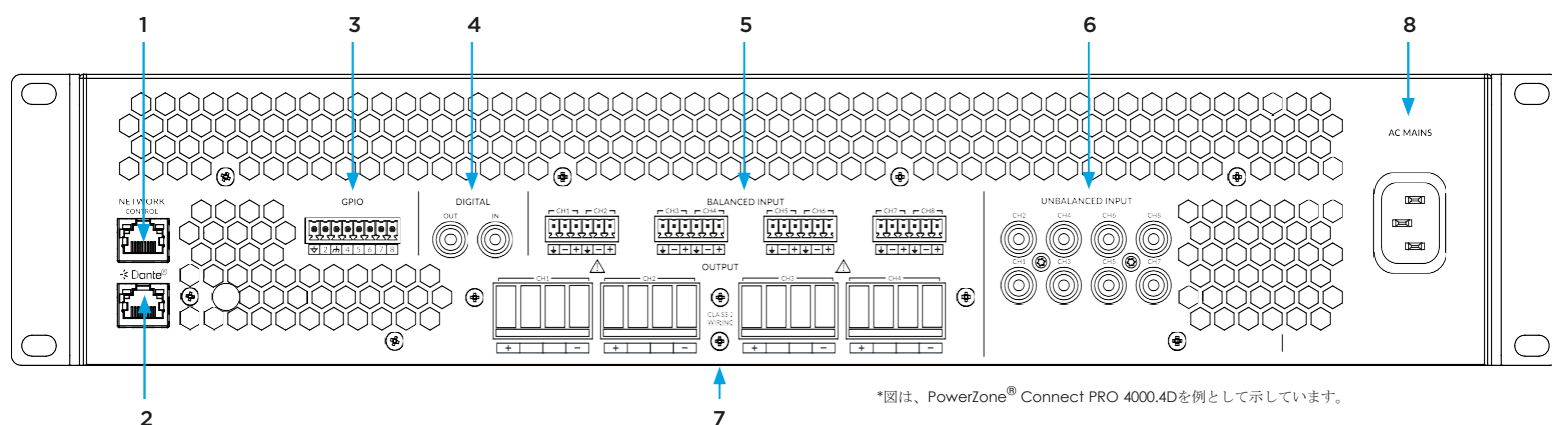
同梱品

- パワーアンプ本体
- ラックマウント金具（装着済み）
x2
- リアサポート金具 x2
- 電源ケーブル
- 入力コネクタ x4
- GPIOコネクタ
- 出力コネクタ x4
- 粘着式ゴム足 x4
- 資料一式

設置上のご注意

- ハイインピーダンス/ローインピーダンスのスピーカー接続は、PowerZone® Control Webアプリより出力チャンネルごとに個別設定できます。（初期設定：Hi-Z 70V）
- アナログ入力感度は、PowerZone® Control Webアプリよりチャンネルごとに個別に調整できます。
- S/PDIFデジタルオーディオ入出力のルーティングは、PowerZone® Control Webアプリより設定できます。
- GPIO（汎用入出力）は、PowerZone® Control Webアプリより設定できます。
- Audinate Dante®インターフェイス（オプション）により、AoIP（Audio over IP）ネットワークとの統合に対応します。
- ラックや密閉空間に設置する場合は、機器の安定した動作に必要な通気を妨げないようにしてください。動作環境温度は、必ず40°C以下を維持してください。

接続端子



1. ネットワーク・コントロール
2. Dante®（オプション）
3. 設定可能GPIO
4. 設定可能S/PDIFオーディオ入出力

5. バランス入力：Euroblock
6. アンバランス入力：RCA
7. 設定可能スピーカー出力
8. 電源入力

SONANCE

PowerZone® Connect PRO 2000.2/2000.2D • 4000.4/4000.4D

クイックスタートガイド

ワイヤレス接続によるネットワーク・コントロール

※Wi-Fi機能とWebブラウザーを備えたモバイル端末、ノートPC、またはデスクトップPCが必要です。

1. 付属の電源ケーブルでPowerZone® Connect PROパワーアンプを電源に接続し、フロントパネルのWi-Fiインジケーターが緑色に点灯するまで待ちます。
2. 使用する端末で利用可能なWi-Fiネットワークを検索し、「Sonance PZcP (モデル名) (シリアル番号)」に接続します。パスワードは「password」です。シリアル番号は本体リアパネルに記載されています。
3. Webブラウザーを開き、IPアドレス「192.168.4.1」を入力します。設定用Webインターフェイスが表示されます。

初回接続後はセキュリティ確保のためPowerZone® Connect PROのWi-Fiパスワードを変更することを強く推奨されます。

有線接続によるネットワーク・コントロール

※Ethernet機能とWebブラウザーを備えたノートPCまたはデスクトップPCが必要です。

1. PowerZone® Connect PROのネットワーク・コントロール端子を、ネットワークスイッチまたはPCに直接接続します。
2. 付属の電源ケーブルでConnect the PowerZone® Connect PROパワーアンプを電源に接続し、フロントパネルのネットワーク・インジケーターが緑色に点灯することを確認します。
3. PowerZone® Connect PROは工場出荷時にDHCP設定されています。ネットワーク・ルーターが自動的にパワーアンプにIPアドレスを割り当てます（必要に応じてネットワークスキャンアプリでIPアドレスを確認できます）。
4. SonanceウェブサイトよりPowerZone® Control Centerをダウンロードすることができます。
5. アプリを起動すると、PowerZone® Connect PROパワーアンプの機種名とシリアル番号が自動検出され、PowerZone® Control Centerに表示されます。（例：“Sonance PZcxxxx xxxx-xxxx”）。
6. PowerZone® Control Centerで、設定するPowerZone® Connect PROパワーアンプを選択します。詳細な設定手順については、PowerZone® Connect PROマニュアルを参照してください。

セキュリティ確保のため、パワーアンプのLAN設定にパスワードを設定することを強く推奨されます。**Settings > Security**で設定できます。



サポート

設置方法、マウント金具、パワーアンプの運用方法などを含む詳細な取扱説明書は、QRコードもしくは sonance.com/powerzone-connect-pro よりダウンロードできます。

SONANCE

PowerZone® Connect PRO 2000.2/2000.2D • 4000.4/4000.4D

安全上の注意事項



この記号は、製品内部に、感電の恐れがある未絶縁の危険電圧が存在することを示しています。



この記号は、本機付属する文書に重要な操作および保守（サービス）に関する指示が記載されていることを示しています。

注意

感電の危険あり

分解・開放禁止

本機は、接地する必要があります。

安全上の重要な注意事項

1. 本書をお読みください。
2. 本書を保管してください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. 清掃は乾いた布のみで行ってください。
7. 通気口を塞がないでください。メーカーの指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、温風吹出口、ストーブなどの熱源、または発熱する他の機器（アンプを含む）の近くに設置しないでください。
9. 感電防止のため、必ず保護接地付きコンセントに接続してください。
10. 極性プラグまたは接地プラグの安全機能を無効にしないでください。
極性プラグは2枚の刃を備えており、一方の刃が他方よりも幅広くなっています。
接地極付きプラグは2枚の刃と1本の接地ピンを備えています。幅広の刃と接地ピンは、安全のために設けられています。付属のプラグがお使いのコンセントに適合しない場合は、旧式のコンセントの交換について電気工事業者にご相談ください。

11. 電源コードは、踏まれたり挟まれたりしないよう保護してください。特に、プラグ、コンセント、および機器から引き出される箇所には十分注意してください。
12. 電源コードを引っ張って抜かず、必ずプラグを持って抜いてください。
13. 雷雨時や長期間使用しない場合は電源を抜いてください。
14. 修理は必ず有資格サービス技術者に依頼してください。次のような場合は、必ず依頼してください。
電源コードまたはプラグが損傷した場合、液体をこぼしたり物体が機器内部に入り込んだりした場合、機器が雨や湿気にさらされた場合、正常に動作しない場合、落下させた場合。
15. 機器用コネクタ（電源プラグ）は、主電源の切り離し装置として機能するため、設置後も容易に操作できる状態を維持してください。



クラス2配線について

スピーカー端子には危険な高電圧が露出しています。絶縁されていない端子や配線に触れると、電撃を受けるおそれがあります。

FCC準拠

本機は、FCC規則第15部に準拠しています。本機の動作は、以下の2つの条件に従います。

1. 本機は、有害な電波干渉を発生させないこと。
2. 本機は、誤動作の原因となる干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れなければならない。

注記：本機は、FCC規則第15部に基づくクラスBデジタル機器の規制要件に適合することが試験により確認されています。これらの規制要件は、住宅環境での設置において有害な電波干渉に対する適切な保護を提供することを目的としています。本機は高周波エネルギーを生成、使用、放射することがあり、取扱説明書に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な電波干渉を引き起こすおそれがあります。

ただし、特定の設置環境において電波干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機がラジオまたはテレビの受信に有害な電波干渉を引き起こしている場合は、本機の電源を切ったり入れたりすることで確認できます。その場合は、以下の対策のうち1つまたは複数を試して、干渉の改善を図ることをお勧めします。

- ・受信アンテナの向きを変える、または設置場所を変更する。
- ・本機と受信機の間隔を広げる。
- ・本機を、受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに接続する。
- ・販売店またはラジオ・テレビの技術者に相談する。